

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成26年8月29日発行

広島市立広島特別支援学校

校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



屋内プールで水泳を楽しむ生徒

□ はじめに

8月は例年になく雨が続き、特に8月20日に発生した安佐北区・安佐南区を中心とした大雨による広島土砂災害におきましては、多くの人命が失われる大変痛ましい大惨事となりました。多くの方が衝撃を受け、胸を痛ませ、改めてかけがえのない生命の重みについて考えられた方も多いのではないのでしょうか。学校でも子どもたちの何よりも大切な生命を守ると共に、自他の生命の尊さや生きることのすばらしさについて指導していきたくと考えています。

さて、いよいよ2学期が始まります。2学期は、家族参観日、小学部と中学部の運動会、文化祭等をはじめとして学校内外で多くの行事があり、それらの行事をテーマとした様々な取組も多々計画されています。児童生徒には一つ一つの活動を楽しみながら、主体的に活動し個々の課題に応じた様々な力を付けていってほしいと願っています。そのために、本校教職員は精一杯努力をしていきます。保護者の皆様には、今後とも本校の教育に、御理解と御協力をよろしくお願い致します。

□ 夏期研修会

7月22日(月)、保健指導部主催の救難研修会を皮切りに、本校において、夏季休業中に23(その内、校外の教職員等に公開した研修会は9)の研修会を実施し、本校以外の先生方も98名参加されました。研修会の講師は、大学や関係機関等の専門家の方々や本校の教員が行いました。また、この夏、本校主催の研修だけでなく、広島市の小学校、中学校の特別支援教育に関する研究会が本校で開催されたり、広島市内の小学校、中学校等の校内研修会に多くの本校の教職員を講師として派遣したりしました。本校は広島市の特別支援教育のセンター的な役割を担っていますが、その役割の一旦を果たすことができたのではないかと考えています。

他にも本校から特別支援学校の免許を取得するための認定講習や教育センターを含め専門性を高めるための各教科等の研修講座、研修会等に多くの教職員が意欲的に参加しました。今後、研修の成果を2学期からの児童生徒の指導に生かしていきたいと考えています。

教材・教具作りの研修会

進路研修会



中邑賢龍先生(東京大学教授)による研修会「スマホ・タブレット時代の特別支援教育」

□ 教材・教具展示会

本校教職員が作成した教材・教具展示会を7月22日(火)から8月8日(金)まで、本校で実施しました。この展示会は本校の教職員間の実践の交流だけでなく、本校で開催された研修会に来校された他校の多くの先生にも見ていただきました。この教材・教具展示会も教材・教具のアイデアや使い方等を他校の先生方に提供することで、微力ながら広島市の特別支援教育の質的な向上に寄与しているのではないかと考えています。この教材・教具展示会は、11月13日(木)に開催する平成26年度広島市立広島特別支援学校公開授業研究会(兼)第54回全国学校体育研究大会ひろしま大会プレ大会でも展示します。今後も教職員間でアイデア等を共有しながら具体的な支援ツールを活用し、「分かる」「できる」授業に生かしてまいりたいと思います。



研修会後に展示会を見学する小学校の先生方

□ 学校保健委員会

7月24日(木)学校保健委員会を実施しました。牛尾剛士学校医をはじめ、7名の学校医学校歯科医、学校薬剤師とPTA会長、副会長に出席いただき、本校の学校保健計画、学校安全計画、児童生徒の健康状態等について、説明を行いました。児童生徒の健康状態を把握し分析を行い、対応を考え、それぞれの専門の先生方から指導・助言をいただけるこの会は大変貴重な会です。今後も障害種別ごとの傾向を探っていくことや受診する際の個別の指導・支援の工夫等を研究することで、児童生徒の健康状態をよりよいものに

学校保健委員会の様子



していきたいと考えています。さらに昨年度から研究を進めている体育で、体力についての研究を深めていき、体育を中心に計画的に学校生活全体で児童生徒の健康を促進し、生涯にわたって児童生徒が健康に生活できる力を付けていきたいと考えています。

□ 生活支援相談会

7月24日(水)生活上の困りごと、福祉サービスの活用方法についての情報提供等を行うことをねらいに、生活支援相談会を実施しました。21件の相談依頼があり、好評をいただいております。御協力いただきました光清学園、障害者生活支援センターめぐる、広島市手をつなぐ育成会障害者支援施設いくせい、瀬野川学園、広島市子ども療育センターの職員の皆様には深く感謝申し上げます。今後とも、小学部の段階から、この生活支援相談会をより一層活用していただきたいと願っています。

□ 教育相談会

8月5日(月)から8月22日(金)の間で教育相談会を行いました。この取組は、本校の就学区域内の小・中・高等学校を対象としたもので、特別な教育的ニーズのある児童生徒への有効な支援につなげるために本校教員が相談支援者となって毎年実施しているものです。相談件数は、8件で、児童生徒の指導に関わること、福祉制度に関すること、教育支援計画に関すること等でした。相談に来られた先生方からは、「役に立っている」との評価をいただいています。また、日ごろのサポートセンターでの教育相談主任を中心とした相談や、学校へ出向いての相談も、教育相談主任をはじめ他の教職員が多数受けております。今後とも、本校が、センター的機能をより一層果たすことができるように努めてまいります。

□ 高等部職業コースパン販売

7月24日(木)に高等部職業コースが広島市市議会棟で生徒が作ったパン販売を行いました。議員の方々や議会職員の方々等多くの方に購入していただき、すぐに完売となりました。



広島市議会棟でのパン販売

キッズシティでのパン販売

また、8月2日(土)には広島マリーナホップを会場として開催されたキッズシティにおいてもパン販売を行いました。キッズシティとは一般社団法人広島青年会議所が発起人となり、広島県、広島市、関係団体等が実行委員会を構成し、子どもが職場体験等を通じて自らの意思で職場体験や、まちづくりに取り組めるよう開催される子ども参加型のイベントで平成23年度から開催されています。今回は、それまでの準備のための会議等が約2か月間にわたり、本校で行われました。

今後とも、様々な機会を捉えて校外での販売活動を行い、社会の中で働く厳しさ、喜び等を実践的に学んでほしいと考えています。

■ お知らせ

□ 財務省広報誌「ファイナンス」の取材

8月7日(木)に中国財務局理財部融資課上席調査官 園山幹成 様 同調査官 上森國雄 様が本校に来校されました。これは財務省の広報紙「ファイナンス」に掲載する記事の取材のためです。両氏とも本校の児童生徒の生活や学習指導の視点から考えて作られた充実した施設・設備に大変感心され、熱心に細かく取材をされました。この取材の記事は今秋発行される「ファイナンス」に掲載されるそうです。また、平成26年7月号の財務省の広報紙「ファイナンス」には「財務局の地域・社会の貢献」の中国財務局のコーナーの中で、本校を上空から撮影した写真と共に「日本有数の施設・設備を持つ特別支援学校の整備に協力しています。」という内容の記事が掲載されています。これは財務省のホームページでも見ることができます。

□ サッカー観戦

8月23日(土)にエディオンスタジアム広島における「サンフレッチェ広島 対 セレッソ大阪(19:00キックオフ)」の試合に御招待いただき希望のあった高等部の12家族26名の生徒・保護者が観戦しました。試合は0-0に終わりましたが、観戦された皆さんはプロの技術の高さやスピード感、スタジアムでの一体感をしっかり楽しまれたようです。この秋にもサンフレッチェの試合観戦の御招待があります。8月の試合は19:00キックオフのため高等部の生徒に限定されていましたが、今度はデーゲームですので、小・中・高等部全員に御案内をいたしますので、奮って申し込んでいただければと思います。

御来校いただいた方々(教育相談での見学、本校主催の研修会に参加された方は除いています。)

月 日	団 体 名 等	人 数
7月28日(月)	広島市中学校第2部門特別支援教育部会 様 広島市小学校特別支援教育部会 様	200名
7月29日(火)	広島市学校給食献立等企画会議 様	13名
7月30日(水)	広島市小学校教科外研究会特別支援教育部会 様	150名
8月 7日(木)	中国財務局理財部融資課上席調査官 園山幹成 様 同調査官 上森國雄 様 足育研究会 様	82名
8月14日(木)	高知県教育委員会事務局特別支援教育課 指導主事 窪内 真由美 様	1名
8月26日(木)	学校体育研究大会実行委員 様	50名